

8 月度(例会個人) 山行報告書		報告者	神戸	参加 メンバー	CL:神戸、杉本
		報告日	8/25		
山 域	東北、飯豊連峰	山行日	15年 8月 10日 (月) ~		
山 名	大日岳・飯豊山		12日(水)		

山行目的	東北の百名山 (14年夏山計画)	コースタイム (天候: 天気図記号)
------	------------------	--------------------

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者



2.5万分の1地図: 飯豊山

8/10 晴れのち曇り
 9:00 御西小屋着デポ
 5:10 飯豊山荘前(410m)登
 9:50(1990m)休憩 10:25 大
 山開始 5:40(620m)休憩 6:
 15(765m)休憩 7:00(980m)
 休憩 7:20 湯沢峰(1021m)
 13:10 駒形山(2038m)休憩
 13:40 飯豊本山(2105m)14:
 00 本山小屋着 14:10 テン
 場着
 8/12 曇り
 5:15 本山小屋発 5:30 飯豊
 山パス 6:00(1915m)休憩
 6:25 藪漕ぎ 30分、休憩 7:
 30 (1810m) 休憩
 8:20(1680m)休憩 9:40 千本
 峰付近(1355m)休憩 10:35
 長坂清水
 (980m)11:35(620m) 休憩
 12:00 桧山沢つり橋(480m)
 休憩 13:00 駐車場着
 8/11 曇り
 5:15 梅花皮小屋発
 6:10 烏帽子岳(2018m)休憩
 7:15 御手洗ノ池(1856m)休
 憩 8:25(1965m)休憩

8/10 晴れのち曇り
 9:00 御西小屋着デポ
 5:10 飯豊山荘前(410m)登
 9:50(1990m)休憩 10:25 大
 山開始 5:40(620m)休憩 6:
 15(765m)休憩 7:00(980m)
 休憩 7:20 湯沢峰(1021m)
 13:10 駒形山(2038m)休憩
 13:40 飯豊本山(2105m)14:
 00 本山小屋着 14:10 テン
 場着
 8/12 曇り
 5:15 本山小屋発 5:30 飯豊
 山パス 6:00(1915m)休憩
 6:25 藪漕ぎ 30分、休憩 7:
 30 (1810m) 休憩
 8:20(1680m)休憩 9:40 千本
 峰付近(1355m)休憩 10:35
 長坂清水
 (980m)11:35(620m) 休憩
 12:00 桧山沢つり橋(480m)
 休憩 13:00 駐車場着
 8/11 曇り
 5:15 梅花皮小屋発
 6:10 烏帽子岳(2018m)休憩
 7:15 御手洗ノ池(1856m)休
 憩 8:25(1965m)休憩

〈山行報告〉台風で流れた14年夏山合宿(飯豊山)に行く予定だった杉本さんに誘われ、私は連休初日に出勤の為に合宿不参加なので2つ返事で同意した。珍しくガイド本を元にコースタイムを計画したが、これが結果的に丁度良い行動時間となった。2008年夏山合宿と2日間同じコースなので以下概略を記す。

- ・1日目: 急登の梶川尾根で蒸し暑さにも負け、休憩を繰り返すも最後までペースは上がらなかった。逆にもっとペースを落として休憩を短くできたなら良かった。梅花皮小屋のテント場は石が多かった。
- ・2日目: 初日より高低差は無かったが、距離が長い分、結果行動時間は変わらなかった。但し、雪溪横のお花畑は北海道の山より花の種類が多くて見ごたえがあった。本山小屋のテント場は小屋から300m南であった。
- ・3日目: 車まで戻る下山最短ルートとしてダイグラ尾根を選んだ。1日前の尾根歩きと違い、次から次にピークが現れた。加えて飯豊山から2つ目のピークを降りる際に道を誤り、そこで私は藪漕ぎを選択したがなかなか手ごわく、私はストックを無くし杉本さんは疲労困憊となった。セカンドを歩くときは2m以上離れないといけないと身にしみたと、藪はもっと短いコースで試すべきで本番では突っ込まないことと学習した。

他は北海道と同様虫射されに注意が必要である。また各小屋の水場は冷たい水が湧き出ている行動中に必要な量の水だけ持って上がればよい。

確認 (リーダー)
神戸 15/08/17
作成 (報告者)
神戸 15/08/17

〈リーダー所見〉今回はペース配分と、各人の体調管理の難しさを痛感した。それにしても歩き甲斐のある山で、梶川尾根の西北の尾根にすくくとそびえる杵差岳が印象的でまた登りたい山が増えてしまった。

